

大津市MICE推進戦略(概要版)

令和4年3月



第1章 戦略策定の意義

① 目的

「大津ならではの魅力」や立地を生かし、さらに MICE 誘致を推進することで、国内外からの誘客促進とまちのにぎわい創出を図るとともに、地域経済の活性化や都市の魅力を向上させることを目的とします。

② 対象期間

令和4年度から令和7年度までの4年間とします。

③ MICE 推進の意義と効果

MICE は、一般的な観光の効果に比べて様々な部分で高い開催効果があり、国内外の多くの都市が積極的な誘致を行い、開催効果を楽しんでいます。具体的には、ビジネス・イノベーションの機会の創造、地域への経済効果、都市の競争力向上及びレガシー効果（市民生活や教育への好影響等）があると考えられます。

第2章 現状と課題

① MICE の動向

世界のコンベンション（国際会議）の開催件数は、2000年から2019年にかけておよそ3倍に増加しています。日本においても、世界の動向と同様におよそ3倍に増加しており、国内で開催されるコンベンションについても開催件数は増加しています。

② 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が MICE に与える影響

MICE の開催に大きな影響を与え、人の移動が制限される中で、多くの MICE が中止・延期を余儀なくされました。国境をまたぐ移動が厳しく制限されたことで、国際的な MICE への影響は特に大きなものとなりました。

③ 大津市の MICE の開催状況

「世界湖沼会議」を始めとして、国際的に知名度の高いコンベンションが開催されています。コンベンションの開催状況については、年平均で開催件数は25件程度、参加者数は15,000人程度で推移しています。本市での開催状況については、年毎の開催件数や参加者数にもばらつきがある状況となっています。

④ MICE 誘致・開催における大津市の強み

都市型レイクフロントの
立地環境

びわ湖に象徴される
サステナブルな都市環境

まち・自然・歴史が共生し
育まれた地域資源と
おもてなしの心

⑤ MICE 誘致・開催における大津市の課題

課題 1

誘致の窓口となるワンストップ窓口の不在

課題 2

プロモーションの不足

課題 3

市内周遊の不便さなど二次交通の脆弱性

課題 4

コアとなる公共 MICE 施設の不在

第3章 MICE 推進の方向性

① 大津が目指すまち

MICE による効果の最大化を図り、イノベーションの創出や都市魅力を向上させることで、「夢があふれるまち大津」の実現に向けた大津ならではの MICE のカタチを目指します。



② ターゲットとする MICE

(1) 区分

本市が目指す MICE の方向性にも大きく貢献すると考えられる、国際会議や学会・大会などの「コンベンション (C)」を主たる誘致対象とします。また、高い経済波及効果を見込むことができ、地域産業との親和性も高い「企業イベント (M、I)」についても、従たる誘致対象とします。

(2) 規模

他都市に比べて、エリアとしての収容能力が高くないため、中小規模の MICE に重点を置いた誘致を行います。

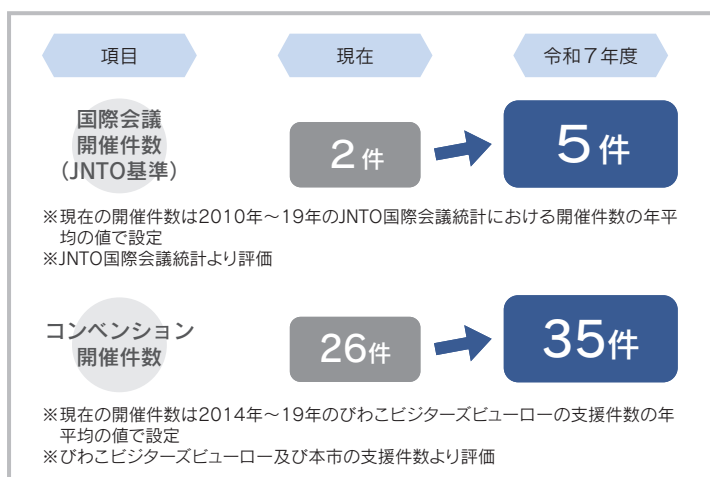
(3) 分野

本市の特徴との親和性を踏まえ、特に医学、自然科学及び理工学の分野（テーマ）で開催される MICE を積極的に誘致します。

③ MICE 戦略における目標

MICE 戦略における数値目標 (KPI) を設定し、目標の達成に向けて、戦略的に取組みを実施していきます。

■指標 1 MICE 開催件数



■指標 2 主催者満足度



第4章 具体的な施策・取組み

基本方針1 主催者にえられる MICE 都市「大津」となるために

本市が MICE 主催者からえられる開催地となるために、誘致プロモーションの強化や主催者支援の充実に取り組みます。また、総合的な主催者の満足度を高めるため、MICE への参加者の利便性向上につながる取組みなども実施します。

施策1 問い合わせ窓口の整備

主催者が本市での開催を検討する際に、様々なサポートを受けることができる問い合わせの窓口を整備し、主催者の利便性を向上させます。

施策2 誘致プロモーションの強化

■ MICE 誘致の促進

積極的な誘致・プロモーション活動を行うとともに、国や JNTO などが行うプロモーションとの連携や民間事業者のノウハウの活用などを行うことで、より効果的な MICE 誘致のプロモーションを進めます。

■ MICE 誘致を行うための情報収集

国内外の様々な関係団体とのリレーションを構築し、積極的な情報収集に努めていくとともに、入手した情報と域内の情報を一元的に管理し、効果的かつ効率的な誘致プロモーション活動を行います。

施策3 主催者支援の充実

■ 助成制度の拡充

開催助成金をより効果的な内容とするための見直しを行い、開催を検討する際の本市への視察における支援やノベルティの提供など、準備段階における助成制度の創設を検討します。

■ サポートの充実

国際会議を中心とした誘致においては、ローカルキーパーソンが誘致に対して積極的になることが重要となることから、ローカルキーパーソンの負担を軽減する様々なサポートを行うことで誘致につなげていきます。

施策4 参加者の利便性向上

参加者が無理なく MICE に参加できるよう、利便性の向上につながる取組みを行っていきます。また、参加者の満足度を高めることにより、主催者の満足度も高め、本市の MICE 誘致の強化にもつなげていきます。

施策5 市内情報の積極的な発信

MICE はあくまでも「ビジネスイベント」であることから、観光情報ではなく、主催者にとって有意義な情報を迅速に発信するための取組みを進めます。

施策6 SDGs に関する取組みの強化

主催者として SDGs を意識した取組みを取り入れるケースや、開催地として持続可能な取組みをどの程度実施しているかを評価する主催者も増えていることから、SDGs への取組みなどを推進することで、サステナブルな MICE ブランドの確立を目指します。

基本方針2 関連事業者と共に創り、磨き上げる MICE 都市「大津」となるために

市内の関連事業者がより積極的に MICE に関与し、「点から線、線から面」へとネットワークを広げることで MICE 開催に適した環境を共に創り、磨き上げていきます。

施策 1 関連事業者との効果的な連携

一施設や一事業者、一自治体という枠を超えて効果的に誘致していく必要があるため、様々な関連事業者等との連携を推進していきます。

施策 2 関連事業者の取組みへの支援

MICE の開催環境を向上させるためには、関連事業者による「投資」を促進していくことが重要となります。また、サステナブル MICE を浸透させるために、関連事業者における持続可能な取組みを推進していきます。

施策 3 関連事業者の拡大と MICE 人材の育成

MICE を受け入れるにあたって行政として支援することで、事業者の積極的な MICE への関与を促すとともに、地域で幅広い知識を有する人材を育成し、質の高いおもてなしによる MICE 開催を実現していきます。

基本方針3 人がつながり、成長する MICE 都市「大津」となるために

人と人のつながりを生み、地域と MICE 主催者や参加者がつながる MICE を目指し、取組みを進めていきます。また、本市の課題を解決することができるような新たな MICE を創出することも検討していきます。

施策 1 地域への MICE 開催効果の享受

■市民の MICE への積極的なつながりの促進

MICE は市民生活に深く関わるものも多くあることから、市民も MICE に参加し、新たな知識や経験を得ることができる機会を創出していきます。

■地元企業や研究者が積極的に MICE につながることでできる環境整備

地域におけるビジネス・イノベーションを促進することができることから、地元の企業や研究者も積極的につながることができる体制の構築を進めていきます。

施策 2 課題解決につながる MICE の創出

■新たな MICE の創出

地域に根ざして生まれた MICE を大きく育てていく取組みなど、本市の地域課題を解決し、本市のプレゼンスの向上に貢献する MICE の創出にも取り組んでいきます。

■地域を超えた MICE の連携

一都市だけでは誘致・開催の実現が難しいものも数多くあるため、近隣自治体との連携を積極的に行い、共同誘致により新たな MICE の獲得を目指します。

第5章 戦略の推進

① 市内ステークホルダーとの協力体制

市内ステークホルダーと協力体制を構築し、MICE の誘致・開催へ向けた取組みを行っていきます。

② 進捗管理

各施策の取組み状況や課題を把握して進捗度を確認することで、本戦略の着実な推進と目標への達成につなげていきます。